

「わがごと まるごと」の地域づくりを目指して！

わがまる通信

Vol.19
令和8年
3月発行

みなさんこんにちは、湖南省社会福祉協議会です！

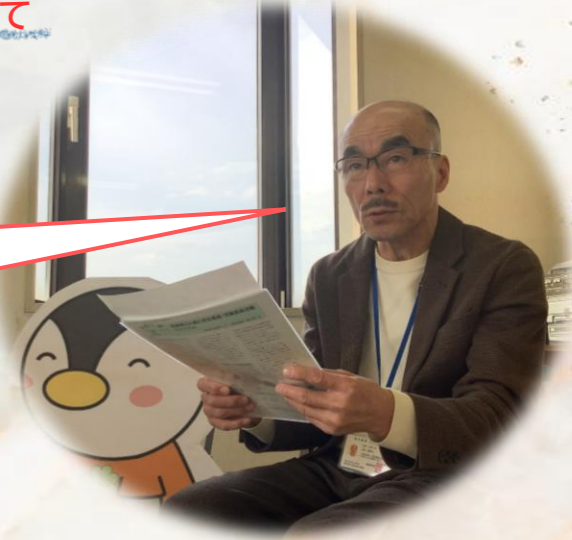
この通信では、くらしの中の困りごとを解決するボランティア活動や地域カフェなどの居場所づくりをはじめとした、住民さん同士の支えあいの取り組みを紹介しています。今号は、「くらしの移動」をテーマに、地域の声と話しあいから見えてきたことをお伝えします。

インタビュー 湖南省民生委員児童委員協議会の大園会長にお聞きしました！

Q. 移動が難しいことで起きている生活上の困りごとについて、どんな声が住民さんから聞こえてきますか？

地域の方より「お出かけの際は、ボランティアさんに助けてもらっているが、“いつでも頼める”というわけではないので、いざという時が心配」というお声があります。

また、「タクシーを利用して草津市や守山市の病院に行っているのですが、お金がたくさんかかってしまう。それでも住み慣れたまちに居たいな」とおっしゃる方もおられます。



インタビューの話、みなさんの暮らしにも重なることはありませんでしたか？ 次のページでは、「移動」に関する地域の声と湖南省のいまを紹介します。

- 表紙・裏表紙 **インタビュー&対談**
【湖南省民生委員児童委員協議会 大園会長 × 湖南省社会福祉協議会 奥野事務局長】
『移動を軸に考える暮らしの安全』をテーマに今回わがまる通信初の対談形式のインタビューを行いました！
- 見開き **特集 わたしたちの「くらしの移動」～湖南省のいまとこれから～**
前号「わがまる通信vol.18」で紹介しました第1層地域支えあい推進会議で話しあった内容をもとに、湖南省のくらしの移動についての報告書を作成しました。今回はその概要版を掲載しています。

今月のメニュー

移動を軸に考える暮らしの安全

～民生委員児童委員と社会福祉協議会は
今後どのように協働していくか～



湖南省民生委員児童委員協議会 大園 会長



湖南省社会福祉協議会 奥野 事務局長

大園：いろいろなサポートや制度があることを知ってもらうことが重要だと思います。全員に情報が届くようにしたいですね。

奥野：民生委員・児童委員さんの負担にならない範囲で、引き続き地域の方の見守りをお願いしたいです。住民さんの困りごとを社協へつないでくださることも多く、本当に心強く感じています。

奥野：移動支援は、高齢者だけでなく、子どもや若者・障がい者など幅広い層の課題だと思っています。そのことを忘れずに取り組んでいきたいですね。



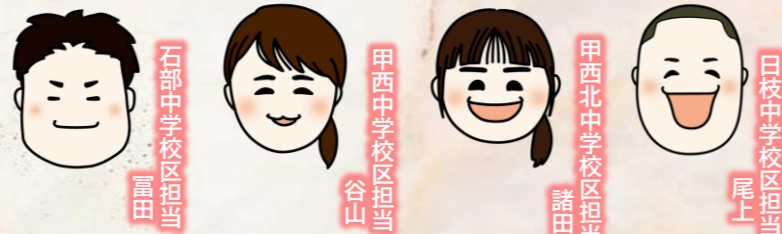
大園：個人情報の問題もあり、民生委員・児童委員として、見守り方やかかわり方に、もどかしさを感じることもあります。「あらたな見守り体制があったらいいな」と思うので、みなさんと協力していきたいですね。

奥野：既存の仲間だけではなく、新たな仲間（企業など）と手を取り合いたいですね。

社協として、知ること、知ってもらうことから始めることが大切ですし、引き続きつなげていく役割を担っていければと思っています。

この通信に関するお問い合わせはこちら

社会福祉協議会の担当職員です！よろしくお願いします！



社会福祉法人 湖南省社会福祉協議会
〒520-3234 湖南省中央一丁目1番地
湖南省社会福祉センター内
☎ 72-4102 FAX 72-8898
✉ konan-shakyo@rose.ocn.ne.jp



当会ウェブサイト

大園会長：今回、第一層地域支えあい推進会議に参加してみて、「いいことをやっているんだな」と知りました。参加するまではこんな会議があるなんて知らなかったです。

それぞれがとても良いことをやっているの、各団体、市全体で取り組むことができる、いいなと思います。

奥野局長：それぞれの良いところを真似する、取り入れる。そのために情報を共有していくこと、共有の場を設けることも社協の仕事だと思っています。



大園：個人情報の問題もあり、民生委員・児童委員として、見守り方やかかわり方に、もどかしさを感じることもあります。「あらたな見守り体制があったらいいな」と思うので、みなさんと協力していきたいですね。

奥野：既存の仲間だけではなく、新たな仲間（企業など）と手を取り合いたいですね。

社協として、知ること、知ってもらうことから始めることが大切ですし、引き続きつなげていく役割を担っていければと思っています。

わたしたちの「くらしの移動」

～ 湖南省のいまとこれから～

こんな声がありました

70歳以上の方がもらえるバス無料乗車券について知られていないことがある

運転免許返納後の暮らしが不安

使える制度やサービスがもっと分かりやすいと助かる

バスが減便になって予定が立てにくく外出しづらい

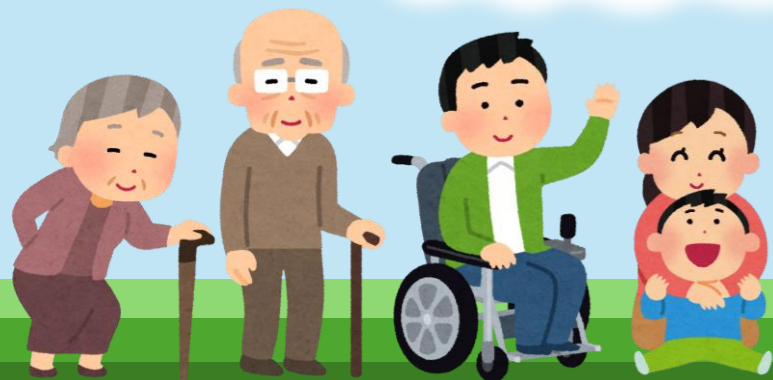
近くで用事を済ませられるお店などが減ってきている

車イスやベビーカーだとバスの乗り降りが大変

買い物や病院に行く交通手段が少ない

移動・外出で困った時どこに相談したらいいの？

送迎や付き添いをしてくれる地域活動が広がるといいな



いま湖南省にはどのような「移動」のかたちがあるの？

※推進会議であがった声をもとに、内容を整理して掲載しています。

見えてきた課題と気づき

- ✓ 便利なサービスがあっても、知られていない
- ✓ バスのダイヤや停留所が暮らしにあっていない
- ✓ 家族や友人にいつまでも頼れない
- ✓ 取り組みがあっても、次の担い手が続かない
- ✓ 移動は手段であり、行った先での用事が目的



◀ 柑子袋区民を対象としたボランティアタクシーを運営するお二人。活動を続けていく仲間を募集しておられます。

これからの「移動」 私たちにできることは？

「病院へ行く」「買い物に出かける」「誰かに会いに行く」

日々の暮らしの中の移動について話しあいを重ねてきました。その中で見えてきたことを、みなさんにお届けします。

※この記事は、湖南省の移動・外出について話しあった会議の報告書を要約したものです。詳細な内容は報告書をご覧ください。

いまある「移動」のかたち

地域公共交通

- コミュニティバス(めぐるくん)
- JR草津線
- 民間タクシー など



▲めぐるくん

地域の支えあい活動

- まちづくり協議会による送迎の取り組み
- 有志の住民グループによる送迎の取り組み など



▲ささえあい活動(水戸)

福祉法人・事業所

- 福祉有償運送
高齢者等を有償で送迎する福祉サービス制度
- 同行援護
視覚障がいのある人の外出時に同行し、移動や目的地での行動を支援するサービス
- 介護タクシー など



▲同行援護の様子

企業・病院など

- 病院による通院の送迎
- 買い物の代行や配達
- 移動販売車 など



▲移動販売車(はじ丸)

※上記は湖南省内にある移動・外出を支える取り組みの一例です。

これからの「くらしの移動」のために

- 💡 知られていないサービスをきちんと届ける
- 💡 暮らしにあうよう、バスやしくみを見直す
- 💡 家族まかせにせず、地域で支えあう形を考える
- 💡 取り組みが続くよう、関わる人を増やす
- 💡 移動方法だけでなく、行き先での安心も考える



みなさんの「こうだったらいいな」が、次の一歩につながります！

まずはこの記事を読んで思ったことや気づいたことを、ご家族や身近な人、地域の中で話してみてください。